



# 盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和4年7月25日

商工労働部

ものづくり推進課

市政記者クラブ加盟社 各位

## スマートシティ関連事業（内閣府「未来技術社会実装事業」）の選定について（お知らせ）

「盛岡 AI・IoT プラットフォーム事業」における社会実装に関する取組が、令和4年度のスマートシティ関連事業（内閣府「未来技術社会実装事業」）に選定されましたのでお知らせします。（選定結果 <https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20220713smartcity.html>）

### 1 内閣府「未来技術社会実装事業」とは

AI、IoT等の未来技術を活用し、地域の課題を解決する提案（今後3年間で一部実装、5年間で本格実装される事業）について、国が現地支援責任者を配置し、関係省庁による総合的な支援を行うもの。（財政面の措置は無し）

- 支援内容
  - ・地域実装協議会の構築（現地支援責任者：内閣府職員を予定）
  - ・実証実験・社会実装時の規制緩和支援
  - ・社会実装に対する助言（関係省庁の支援策紹介）等
- 支援期間 概ね3年間

### 2 社会実装を目指す主な事業

盛岡市デジタル技術実証実験事業補助金の補助対象事業の社会実装を目指す。

	社会実装を目指す主な事業	事業者名（グループ名）
1	ドローン×映像解析 AI による橋梁点検の効率化	NoBSI プロジェクト（湊運輸倉庫株式会社、株式会社オリテック 21、株式会社東北工商）
2	xR 技術活用によるさんさ踊り等伝統文化伝承	株式会社プラスプラス
3	デジタル技術を活用したスマートストア事業	NTT ベース（株式会社 TOLIMS、manorda いわて株式会社、東日本電信電話株式会社岩手支店）
4	IT を活用した地域医薬連携モデル化事業	AP TECH 株式会社
5	チャバタケ doors メタバース事業（メタバースの教育活用事業）	チャバタケ doors メタバースプロジェクト（project KoBo、株式会社 doors）
6	自動運転 EV で城跡を巡る「MorioKart」走行デモ	株式会社フロムいわて
7	通信及び IoT 技術を用いたリモートメンテナンス活用による工場内生産工程の改善事業	株式会社 Chaos Edge

※内閣府に対する提案書は、別添のとおり。

### 3 今後のスケジュールについて



年内（9～11月目途）に地域実装協議会「（仮称）マルチモノ盛岡推進協議会」を設立予定。

未来技術の多数の実装により、より良い生活環境を実現するとともに、高度 IT 人材が魅力を感じる高付加価値産業を盛岡に創出し、理工系人材の地元定着につなげます。

#### 【お問合せ先】

盛岡市商工労働部ものづくり推進課工業振興係

担当 上森貞行、中村拓也、外久保貴恵 TEL 019-626-7538


提案タイトル	未来技術チャレンジプラットフォーム『MULTI MONO MORIOKA』  
提案者	活用技術
岩手県盛岡市	AI、IoT、ドローン、VR/AR、5G、自動運転、キャッシュレス、クラウドコンピューティング、メタバース 等

## ■ 背景・課題


目指す将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北第2位のIT産業集積の強化(2030年IT戦略実現:①IT産業売上高3倍、②IT事業所数2倍、③高度IT人材地元定着50%増)</li> <li>・未来技術の多数実装による高度IT人材が魅力を感じる高付加価値産業の創出(北東北の人口減少の防波堤構築)</li> </ul>
解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度IT人材の首都圏流出(IT産業の下請構造、低い労働生産性、伝統的な雇用体系 等)による人材流出の負のサイクル)</li> <li>・地方大学の知見を活かした次世代産業の構築(産学金官によるスマートシティ推進と合わせたスタートアップ拠点の形成)</li> </ul>

## ■ 実装を目指す主な事業内容

### ○事業1:ドローン×映像解析AIによる橋梁点検の効率化

活用技術	事業概要(R3~)
ドローン、AI、自動運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディープラーニングによるドローン画像解析向上</li> <li>・ドローン映像リアルタイム配信による遠隔地リモート調査</li> </ul>  <p>事業1の様子</p>

### ○事業2:xR技術活用によるさんさ踊り等伝統文化伝承

活用技術	事業概要(R3~)
5G、AI、VR/AR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実空間にxRグラスを通して踊りを3D投影</li> <li>・xR技術の他分野への応用(工場労働者、デジタルツイン、メタバース等)</li> </ul>  <p>事業2の様子</p>

### ○事業3~7:スマートストア 他

活用技術	事業概要(R4~)
キャッシュレス、AI、クラウド、自動運転、IoT 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用したスマートストア事業</li> <li>・ITを活用した地域医薬連携モデル化事業</li> <li>・メタバース教育活用事業</li> <li>・自動運転EV城跡巡り走行デモ事業</li> <li>・リモートメンテナンスによる工場内改善事業</li> </ul>

